

## 通勤しやすい環境づくり

通勤手段も状況に応じてスムーズとなり、働きやすい環境となることで、企業から選ばれ経済が持続的に成長する街となります。



- 1993年1月 宇都宮市東部の渋滞対策として、渡辺文雄知事は新交通システムの具体化に向けた調査に乗り出す意向を表明
- 94年4月 県と宇都宮市、宇都宮市街地開発組合が「新都市交通対策協議会」を設立
- 95年4月 宇都宮都市圏都市交通マスタープランに、市中心部と鬼怒川左岸地域を結ぶ公共交通システムの導入が位置付けられる
- 97年4月 県は新交通システムについて、軌道系の簡易型システムを検討する方針を固める
- 6月 県、市、市街地開発組合、交通事業者らが新交通システム検討委員会を設立
- 99年4月 新交通システムの導入を公約に掲げた福田富一氏が宇都宮市長に初当選
- 2001年3月 新交通システム検討委がLR T導入を調査検討する方針を策定
- 11月 新交通システム導入基本計画策定調査委員会が組織され、ルート選定や採算性などの調査始まる
- 03年5月 県と市が「新交通システム導入基本計画」策定へ調査結果をまとめる。「基幹公共交通はLR T」と示す
- 9月 福田昭夫知事が新交通システム導入の「5年凍結」を提案。「早期導入なら市主体」と市に提示
- 04年11月 LR T推進派の福田富一氏が知事に、後継の佐藤栄一氏が市長に初当選
- 05年5月 県、市が共同で新交通システム導入課題検討委員会を設置
- 08年11月 佐藤市長がLR T反対を掲げた3人の候補を破り再選
- 12年11月 佐藤市長がLR T導入を公約に掲げ3選。導入に向けた取り組みが加速
- 13年3月 JR宇都宮駅東側を優先整備する「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」を公表
- 10月 芳賀町がLR T延伸を求める要望書を市に提出
- 11月 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会を設置
- 14年1月 反対派の市民団体が導入の是非を問う住民投票条例制定を請求し、市議会が否決。15年3月、同9月には議員提出の制定案否決
- 15年11月 第三セクターによる運行会社「宇都宮ライトレール」を設立
- 16年5月 市、町がLR Tルートを都市計画決定
- 9月 市、町、宇都宮ライトレールが提出した「軌道運送高度化実施計画」を国が認定。軌道事業の特許を取得
- 11月 佐藤市長がLR T反対の対立候補を僅差で破り4選
- 12月 16年度内着工予定を延期
- 18年3月 国がLR T軌道の工事施行を認可
- 5月 JR宇都宮駅東口地区で起工式
- 6月 駅東側で着工
- 20年11月 佐藤市長がLR T一時凍結を訴えた対立候補を破り5選
- 21年1月 開業延期と概算事業費増額を発表。22年3月から1年程度の延期を表明、概算事業費は見込みの1.5倍に当たる684億円に
- 4月 車両愛称が「ライトライン」に決定
- 22年6月 開業再延期を公表。23年3月から、さらに延期に
- 8月 宇都宮駅西側の延伸計画を公表
- 11月 試運転中の脱線事故が発生
- JR宇都宮駅東口地区で「まちびらき記念式典」
- 23年3月 全区間の工事終了
- 8月17日 運輸開始認可
- 8月26日 駅東側で全線開業

### ■ JR宇都宮駅西側の今後の予定

- 24年中 軌道事業の特許申請
- 26年中 着工
- 30年代前半 開業

